

NEWS LETTER

KIT 男女共同参画推進センター通信

第6号
2014.12

京都女性活躍加速化事業セミナーにセンター長と女子学生が参加、登壇しました。

平成 26 年 10 月 26 日（日）午後、ウイングス京都で開催されました、京都女性活躍加速化事業「私が“輝き続ける”ための Girl's Talk」（主催：京都府 京都市）に、本学 K I T 男女共同参画推進センターの森迫センター長と工芸科学研究科建築設計学専攻の和田有未さんが参加、登壇しました。

和光大学現代人間学部教授の竹信三恵子先生のミニ講義「“しあわせ”に働くための自分づくり」に続き、次のミニ座談会では、竹信先生、本学の森迫 K I T 男女共同参画推進センター長、佛教大学の豊原学生支援部長、本学大学院生・和田有未さん、佛教大学学生・谷口朋美さんが登壇し、「大学を越えて語り合う～女子学生の“就活”と“キャリア形成”～」について討議しました。

そのあと、本学応用生物学課程 2 回生・溝口恵美さんはじめ、参加女子学生全員がワールドカフェスタイルで、「“しあわせ”に働くために」をテーマに意見交換を行いました。女性が働くことの現状、労働環境、家庭生活、ネットワーク作り、価値観、生き方などについて、あらたな気付きや発見が発表されました。

仕事や将来のキャリア、パートナー、家事・育児などについて、京都の他大学女子学生と一緒に考えるまたとない機会となりました。



座談会で発言する森迫センター長



座談会で発言する本学・和田有未さん



ワールドカフェの様子（中央：本学・溝口恵美さん）



京都女性活躍加速化事業セミナーの様子

KIT男女共同参画推進センター 第6回セミナーを開催しました。 「未来を創る理系のキャリアデザイン—その生かし方」

平成 26 年 10 月 10 日（金）午後、本学 60 周年記念館 2 階大セミナー室にて、KIT 男女共同参画推進センター第 6 回セミナーを開催しました。このセミナーは、本学で平成 22 年度より実施しています「男女共同参画社会を実現するための教育プログラム」との共同企画によるものです。

理系の仕事やキャリアデザイン、仕事と生活の両立（ワークライフバランス）をテーマに、企業や研究機関で働く先輩女性の実経験を伺いました。

森迫センター長の開会の挨拶に続き、本学卒業生で株式会社イトーキにお勤めの藤田奈津子氏より、「子育てと仕事と日々のいろいろ」と題して、ご講演いただきました。

ご自身の仕事、結婚、出産、育児の実体験から両立方法や転勤・異動など環境の変化への対処法などをお話いただきました。子育てのみならず、東日本大震災を機に行っているボランティア活動や社外のコミュニティ活動に関わるようになり広がった視点やネットワークの例など、学生にとっても身近なロールモデルとして参考になるお話でした。

引き続き、「多様なキャリアの生かし方」と題して、株式会社大塚製薬工場ライセンス部長の榎原 泉氏にご講演いただきました。お子さんを育てながら海外勤務をこなした公務員時代から、民間企業での海外法人設立経験などそのパワフルな働き方に多くの参加者が刺激を受けました。現在、女性管理職として社内外からの注目も高い榎原さんからは、男女ともに目の前の仕事にベストを尽くしながら、夢や目標をもって仕事を続けていく大切さを学びました。

最後に、「男女共同参画社会を実現するための教育プログラム」を代表して、本学大学院工芸科学研究科教授の亀井加恵子先生に閉会の挨拶をいただき、セミナーは終了しました。

セミナー終了後には交流会を行い、講師の方と積極的に意見交換を行いました。「お二人ともとても力強く、キャリアを積まれていると感じました。パワーをいただきました。」や「将来の視野が広がりました。」「笑顔のトレーニング」私もプレゼンの前にやろうと思います。」など多数の感想が寄せられました。



講演Ⅰの様子・講師：藤田奈津子氏

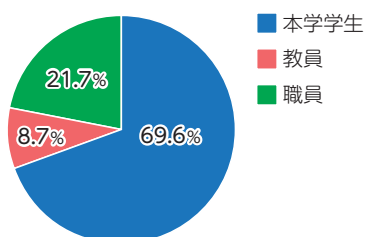


講演Ⅱの様子・講師：榎原 泉氏

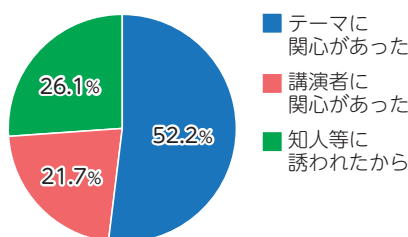
アンケート結果

※アンケート回収率 53.5%

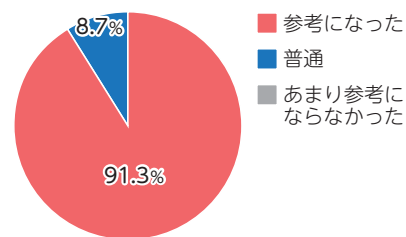
あなたの職業



セミナーに参加した理由



本日のセミナーについて



KIT男女共同参画推進センター 第7回セミナーを開催しました。

「未来を創る理系のキャリアデザイン—その多様性と可能性」



平成 26 年 11 月 11 日（火）午後、本学 60 周年記念館 2 階大セミナー室にて、KIT 男女共同参画推進センター第 7 回セミナーを開催しました。

森迫センター長の開会の挨拶に続き、パナソニック株式会社・先端研究本部部長の山田由佳氏に「『できる』を『できた』に・・・その感動がやみつきに」と題して、ご講演いただきました。仕事と生活を両立させながら、まだ世に出ていないような商品につながる新たな技術を「創造」することをミッションに研究生活に打ち込む日々。失敗を恐れず、「できた」ときの感動、快感を味わう醍醐味にやみつきになりながら、若いメンバーとともにチャレンジする研究姿勢を伺いました。

次に「人と技術のやさしい未来—志による社会変革」と題して、同志社大学大学院教授で株式会社ユーディット（情報のユニバーサルデザイン研究所）会長の関根千佳氏にご講演いただきました。

社会は多様な年代、状況の人々で構成されていて、多様なニーズをもつ人がいます。誰もが使いやすい、暮らしやすい ICT デザイン・ユニバーサルデザインは、子どもや高齢者、障がい者などが生活していて「困った」、「わからない」の視点（ニーズ）が、大きなイノベーションに結び付いていくことを改めて教えていただきました。

最後に、本学大学院工学科学研究科電子システム工学部門教授で学長補佐の大柴小枝子先生に閉会の挨拶をいただき、参加者で記念撮影を行い、セミナーは終了しました。

セミナー終了後には、交流会を行い、講師の方と研究やキャリア形成、ワークライフバランスなどについて、意見交換を行いました。「エネルギーのサステナビリティ、ICT を活用したイノベーション、今後の活力を感じました。」「自分も来年から社会に出るので、今回のセミナーで身が引き締められました。」「自分の発想にない考えを聞くことができて大変参考になりました。」など多数の感想が寄せられました。



第 7 回セミナーの様子

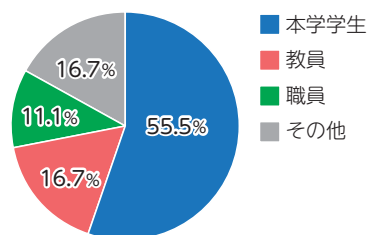


講師（前列左から 4 人目・関根千佳氏、その隣・山田由佳氏）を囲むセミナー参加者

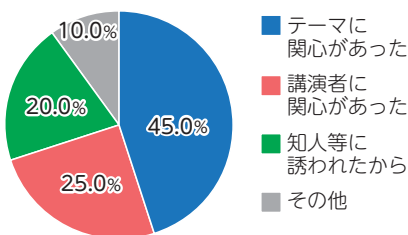
アンケート結果

※アンケート回収率 43.9%

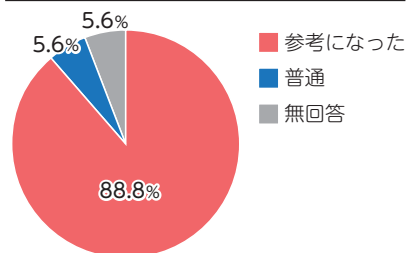
あなたの職業



セミナーに参加した理由



本日のセミナーについて



活動報告

●WLBミニ講座 2014「女性の健康―変化とケア」を開催しました。

平成 26 年 8 月 25 日（月）午後、本学 60 周年記念館 2 階セミナー室にて、女性教職員を対象に WLB（ワークライフバランス）ミニ講座 2014 を実施しました。「女性の健康―変化とケア」と題して、仕事と生活を両立する上で、生涯を通じて変化していく女性特有の健康状態やケアについての知識と理解を深める機会として開催しました。

京都府立医科大学医学部看護学科教授の松岡知子先生をお迎えして、女性の身体（からだ）のライフサイクル、特に更年期の症状やメカニズム、ホルモン療法、食生活、漢方薬やサプリメントの使用方法、運動、睡眠の効果など様々な面からお話いただきました。

参加者からは女性特有の体調やそのケアについて、より具体的な質問があり、日常的にできる対処療法などを教わりました。「更年期障害に向けて心の準備ができました。」「大変ためになりました。」「子育て、仕事、家事、日々の疲労から脱出をはかるよい機会になりそう。」などの感想が寄せられました。



WLBミニ講座の様子（講師：松岡知子氏）

●「KITサイエンスガール1日体験講座」を開催しました。

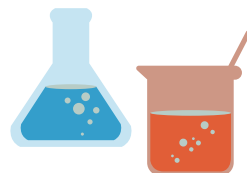
平成 26 年 8 月 23 日（土）、本学 60 周年記念館にて、KIT サイエンスガール 1 日体験講座「リケジョの扉―新たな世界を拓く夏」を開催しました。この講座は、本学「地（知）の拠点整備事業」地域貢献加速化プロジェクトの一環として、本学女性教員とKIT 男女共同参画推進センターが連携して実施したものです。本学の電子システム工学専攻、生体分子工学専攻、物質工学専攻、建築学専攻の女子大学院生が、企画・運営を行いました。



体験講座の様子

関西地区を中心に 6 府県 18 名の女子中高生を対象に、本学の特徴を生かしたサイエンスとデザインの体験講座を実施しました。午前の部では、電子の光通信実験と化学のオリジナルコスメ実験を、午後の部では造形のミニチュア製作を行いました。

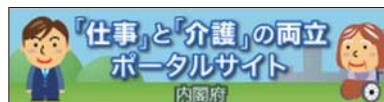
続いてのリケジョトークでは、大学での研究や就職先、入試対策などについて、本音トークがにぎやかに展開されました。女性教員、女子学生、女子中高生が楽しくふれあい、学び、理系のワクワク感を味わった、まさしくリケジョ達の夏の貴重な一日となりました。また、平成 26 年 8 月 24 日（日）京都新聞の朝刊に、この講座が紹介されました



インフォメーション

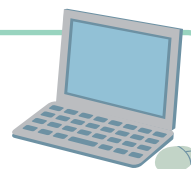
○内閣府「仕事と介護の両立ポータルサイト」の紹介

内閣府 仕事と生活の調和推進室では、仕事と介護の両立に関する各種制度やサービスの情報をわかりやすく紹介しています。



内閣府仕事と生活の調和推進室 HP

<http://www.cao.go.jp/wlb/ryouritsu/index.html>



～応援します！研究と生活の両立～ ◇◇京都工芸繊維大学 KIT 男女共同参画推進センター◇◇

住 所 〒 606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町 京都工芸繊維大学 2 号館南棟 1 階 134 号室

TEL・FAX 075-724-7757（内線 7757）

Eメール sankaku@kit.ac.jp ホームページ <http://www.sankaku.kit.ac.jp/>